

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0862  
 住 所 川崎市川崎区浮島町10-8  
 氏 名 日本合成アルコール株式会社 印  
 代表取締役 近藤 修  
 (代理人) 専務取締役工場長 張 將司  
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

|                     |  |                     |               |
|---------------------|--|---------------------|---------------|
| 事業者の氏名<br>又は名称      | 日本合成アルコール株式会社  |                     |               |
| 主たる事務所又は<br>事業所の所在地 | 川崎市川崎区浮島町10-8  |                     |               |
| 該当する事業者<br>の要件      | <input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者        |                     |               |
|                     | <input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者                   |                     |               |
|                     | <input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者                   |                     |               |
|                     | <input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者                   |                     |               |
|                     | <input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)               |                     |               |
| 主たる事業<br>の業種        | 大分類  | E                   | 製造業           |
|                     | 中分類  | 16                  | 化学工業          |
| 主たる事業<br>の内容        | 工業用アルコールの製造  |                     |               |
| 事業者の規模              | <input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量         | 14,969 k l          |               |
|                     | <input type="checkbox"/> 自動車の台数                          | 台                   |               |
|                     | <input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素<br>以外の温室効果ガスの排出の量 | t - CO <sub>2</sub> |               |
| 連絡先                 | 担当部署   | 担当部署名               | 技術部製造課        |
|                     |  | 所在地                 | 川崎市川崎区浮島町10-8 |
|                     |  | 電話番号                | 044-266-6571  |
|                     |  | FAX番号               | 044-266-6575  |
|                     |  | メールアドレス             |               |
| 受付欄                 |  | 事業者番号               |               |
|                     |  | 特記事項                |               |

(第2面)

| 計 画 期 間                            | 平成22年度 ~ 平成24年度  |
|------------------------------------|--|
| 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針           | 別添 指針様式第1号及び第3号のとおり  |
| 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制             | 別添 指針様式第1号及び第3号のとおり  |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量      | 別添 指針様式第1号及び第3号のとおり  |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項 | 主として運転条件の最適化、工場設備の改造等により排出量の抑制を図る。<br>・運転条件の最適化検討<br>・加熱炉炉壁の改修 既設ボイラの改造 など<br>詳細は指針様式第1号(第4面、5面)のとおり |
| 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項      | なし   |
| その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項             | ・グリーン購入の推進<br>・廃棄物の減量化 分別の徹底<br>詳細は指針様式第1号(第6面)のとおり  |
| 備 考                                |  |

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 のある欄は、該当する 内にし印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

「環境の保全と安全の確保及び顧客満足のための継続的改善」を会社経営の最重要課題と位置づけ、顧客並びに地域社会からも信頼される本社・工場とするため、下記方針を掲げ、環境保全活動を推進します。

1. 原材料の入荷から、製造、出荷、廃棄にいたるまで全ての工程で環境に与える影響を評価し、継続的に環境の維持・改善を図っていきます。
2. 環境に関する法令や協定など当本社・工場が同意した要求事項を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
3. 環境方針を達成するため、環境目的及び環境目標を設定し、従業員等に周知徹底させるとともに、全員参加による環境管理システムの継続的な運用を図っていきます。
4. 省資源・省エネルギー活動を推進し、廃棄物の減量化・再資源化を図っていきます。
5. これらの活動に必要な規程・基準類を文書化し、周知徹底させます。
6. 内部監査を実施し、自主管理による環境管理システムの維持向上に努めます。
7. 環境方針は、一般に開示します。

以上当社(本社・工場は川崎市内に所在します)環境方針

JISQ14001:2004 取得日:2006/2/22 登録範囲:工業用合成アルコールの製造に関する事業活動

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

別紙参照

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等(第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

| 基準年度  | 平成21年度                                     | 目標年度  | 平成24年度                       |
|-------|--|-------|------------------------------|
| 基準排出量 | (実) 29,543<br>(調) 28,600 t-CO <sub>2</sub> | 目標排出量 | (実) 28,657 t-CO <sub>2</sub> |
| 削減率   | (実) 3.0 %                                  | 削減量   | (実) 886 t-CO <sub>2</sub>    |

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

| 原単位の活動量                   | 生産数量   | 単 位    | t-CO <sub>2</sub> /kL |
|---------------------------|--------|--------|-----------------------|
| 基準年度の値                    | 0.4542 | 目標年度の値 | 0.4406                |
| 削減率                       | 3.0 %  |        |                       |
| 延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由 |        |        |                       |

ウ 目標設定に関する考え方

二酸化炭素排出量の削減を図るために3年間で3%削減することを前提に目標を設定した。装置の運転条件等の改善により蒸気原単位5%削減を目標とした。更に加熱炉炉壁の改修による損失低減、既設ボイラの自動燃焼制御装置(排ガス酸素濃度計)取付けによる効率改善によりエネルギーロス低減を図る。また産業用蒸気の入力を廃止、都市ガス燃焼ボイラへの転換により燃料由来の二酸化炭素低減を図る。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標(全社目標)

|  |
|--|
|  |
|--|

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

( 1 ) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

|  |  |
|--|--|
| <p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進体制の整備</li> </ul> <p>既存のエネルギー管理及び省エネルギー推進体制、EMS推進組織体制を活用し、温室効果ガスの削減を達成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要設備等の保全管理</li> </ul> <p>エネルギー管理規程(管理標準)、EMS手順書類に基づき保全管理を行うとともにそれらの定期見直しを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱利用設備の断熱の保全管理</li> </ul> <p>加熱炉炉壁の改修を行い損失の低減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産設備のエネルギー管理</li> </ul> <p>運転条件、操業条件の見直しによりエネルギー使用量の低減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空気比の管理</li> </ul> <p>既設ボイラに自動燃焼制御装置(排ガス酸素濃度計)を取付け、効率向上によりエネルギー損失の低減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照明器具の新設、更新等</li> </ul> <p>照明器具の新設、更新にあたっては基準エネルギー消費効率以上のものの採用、保守性を考慮した機種選定、設置方法を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・装置内で発生するオフガスの有効利用の検討</li> </ul> <p>装置内で発生するオフガスを加熱炉で混焼し熱回収を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料由来の二酸化炭素低減</li> </ul> <p>産業用蒸気受入から都市ガス焚蒸気ボイラによる蒸気自生により二酸化炭素発生低減を図る。</p> |
| <p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>              |  |

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

当社では現在、再生可能エネルギーの利用は考えていない

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

| 設備等の種類 | 概要(規模、導入場所、性能等) | 導入年度 | 備考 |
|--------|-----------------|------|----|
|        |                 |      |    |
|        |                 |      |    |
|        |                 |      |    |
|        |                 |      |    |
|        |                 |      |    |

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

| 種類 | 概要(規模、場所等) | 保有年度 | 備考 |
|----|------------|------|----|
|    |            |      |    |
|    |            |      |    |
|    |            |      |    |
|    |            |      |    |
|    |            |      |    |

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

|   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ、ファン類のVVVF化</li> <li>・吸収式HPによる熱回収(蒸気発生)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>契約電力の20%(定格電力ベース)</li> <li>全蒸気使用量の28%(平成21年度実績)</li> </ul> |
|---|---|

6 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- ・グリーン購入の推進 (EMS)
- ・廃棄物の減量化 分別の徹底 (EMS)

様式第 1 号

( 第 7 面 )

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

( 1 ) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

|     |        |                   |
|-----|--------|-------------------|
| (実) | 29,543 | t-CO <sub>2</sub> |
| (調) | 28,600 |                   |

イ 第 3 号該当者等

|     |  |                   |
|-----|--|-------------------|
| (実) |  | t-CO <sub>2</sub> |
| (調) |  |                   |

( 2 ) 事業所等单位 ( 第 1 号、第 2 号該当者等 )

ア 年間の原油換算I礼㊦-使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地       | 日本標準産業分類<br>細分類番号 | 事業所に係る<br>事業の名称 | 温室効果ガス<br>の排出の量          |
|--------|---------------|-------------------|-----------------|--------------------------|
| 本社・工場  | 川崎市川崎区浮島町10-8 | 1632              | 脂肪族中間物製造業       | 29,543 t-CO <sub>2</sub> |
|        |               |                   |                 | t-CO <sub>2</sub>        |
|        |               |                   |                 | t-CO <sub>2</sub>        |
|        |               |                   |                 | t-CO <sub>2</sub>        |

イ 年間の原油換算I礼㊦-使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類<br>細分類番号 | 事業所に係る<br>事業の名称 | 温室効果ガス<br>の排出の量   |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
|        |         |                   |                 | t-CO <sub>2</sub> |
|        |         |                   |                 | t-CO <sub>2</sub> |
|        |         |                   |                 | t-CO <sub>2</sub> |
|        |         |                   |                 | t-CO <sub>2</sub> |

ウ 年間の原油換算I礼㊦-使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

| エネルギー使用量の規模    | 事業所数 |
|----------------|------|
| 400 ~ 500kl 未満 |      |
| 300 ~ 400kl 未満 |      |
| 200 ~ 300kl 未満 |      |
| 100 ~ 200kl 未満 |      |
| 100kl 未満       |      |

( 3 ) 事業所等单位 ( 第 4 号該当者等 )

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 ( 二酸化炭素換算 ) が 3,000 t 以上 ( 二酸化炭素の場合はI礼㊦-使用に伴い排出したものを除く。 ) の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類<br>細分類番号 | 事業所に係る<br>事業の名称 | 温室効果ガス<br>の排出の量   |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
|        |         |                   |                 | t-CO <sub>2</sub> |
|        |         |                   |                 | t-CO <sub>2</sub> |
|        |         |                   |                 | t-CO <sub>2</sub> |
|        |         |                   |                 | t-CO <sub>2</sub> |

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 ( 二酸化炭素換算 ) が 3,000 t 未満 ( 二酸化炭素の場合はI礼㊦-使用に伴い排出したものを除く。 ) の事業所の数

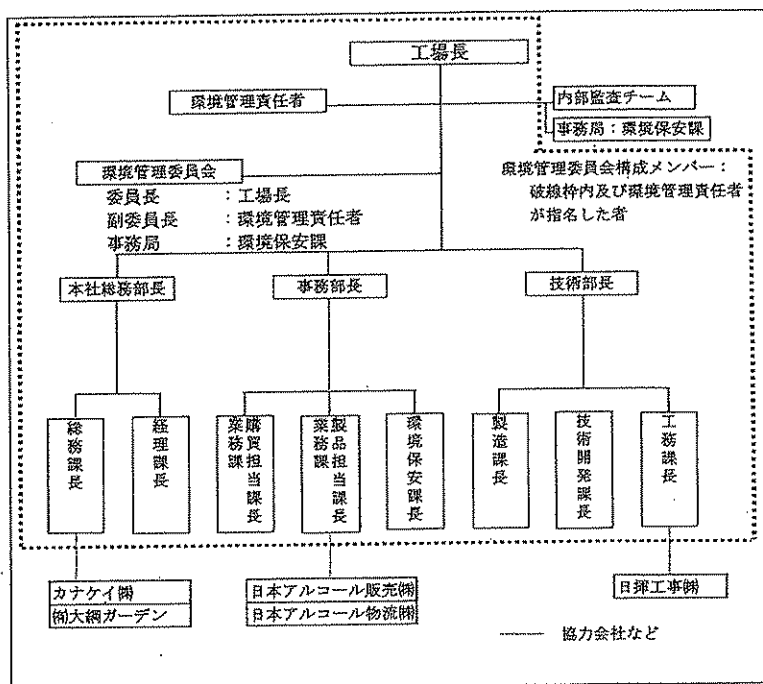
|      |  |
|------|--|
| 事業所数 |  |
|------|--|



温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制(別紙)  
 (指針 様式第1号(第1面) および 指針 様式第1号(別紙2-1 第2面) 関連)

全般(EMS)組織体制

環境マネジメントシステム推進組織図



省エネ組織体制

エネルギー管理および省エネルギー推進体制

